

まなびすと久喜

第 2 号

編集：久喜市生涯学習推進部
発行：久喜市教育委員会

市民大学を考える

橋本 昭

過般、黒山三滝や梅林などで有名な越生を訪ねた。

町の文化財地図を手に案内された。町の人たちは、文化財をはじめ、「私たちの宝」を発掘保存し更には郷土の物産の宝を開発し、その宣伝に熱心なのは感心した。

でも越生の宝が特別ではない。町の宝は久喜市も劣らない。市発行の文化財地図を見ても、また過日の「埼東よみうり」の久喜版の特集に紹介された文化財、人物、行事、郷土料理、物産の宝は各地区に意外と多い。

地区の宝はそれぞれの地区の人々は皆知っている。が、市全体となると未知の宝だ。

越生では町全体を博物館にしようとして計画している。文化財の陳列してある博物館ではない。自然の景観、物産品、郷土料理、地区の行事伝承等総てを町の宝とする博物館構想だ。

町の人が宝と誇れるものを探し、掘り起し、更には創意工夫して宝に仕立てる。それを宣伝し多くの人の関心呼び町の活性化を図ろうとする。

こうした活動は全国各地で「町おこし」として活発だ。

「町おこし」には人育てが大仕事になる。動く人が必要になる。

久喜市の市民大学はそうした町の宝探し、宝育て、宝作り、助っ人役、リーダーになる学びあいの人づくりの場として他市に先がけて平成六年に開設した。

新久喜市になって、こうした人たちの輪のひろがり改め求められている。

合併で地域が広がった。市民大学が一ヶ所では集まりにくい。

私は各地区に市民大学ふるさと塾とも言うべき栗橋塾、鷲宮塾といった「地区塾」を開設しその地区の宝探し、宝作りを考えあう人育ての機会をひろげるべきかと考える。

四地区の塾は公開とし、交流の学びをひろげるとよい。誰もが、どこかの塾の講座を受講しても単位として認める。欠席者には講義記録を配るようしたらプログラムの工夫で学びの分野と受講機会がひろがる。

市民大学の地区（ふるさと）塾を考えてみようではありませぬか。

久喜市 生涯学習施設 紹介

- ★場所 久喜市伊坂1557
- ★電話 0480 (52) 3221
- ★アクセス JR・東武栗橋駅より徒歩約15分
- ★駐車場 250台
- ★休館 毎週火曜日・祝日の場合は翌日・年末年始



- ★場所 久喜市中妻785番地2
- ★電話 0480 (59) 2121
- ★アクセス 東武伊勢崎線鷲宮駅下車徒歩約20分
- ★休日 毎週水曜日・国民の祝日の翌日・年末年始

栗橋文化会館（イリス）

栗橋地区

「イリス」とはフランス語で「虹」のことで、虹のような文化の架け橋：という意味が込められています。476席を有するホールその他、音楽室・図書室・視聴覚室・会議室・和室・工作室・陶芸焼成窯等が備わっていて、各サークルや、文化祭・ときめき祭りの会場として隣接されているB&G海洋センターとともに利用されています。

鷲宮西コミュニティセンター（おおとり）

鷲宮地区

コミュニティセンターは、地域住民の連帯意識を高め、健康で文化的な近隣社会の建設とその発展に寄与するために設置されています。「おおとり」の施設概要はボランティアアビュロー2部屋、クラブ室2部屋、調理室、ホールです。気楽に、予約してご利用ください。

くき地区手話サークル

久喜地区



連絡先については、久喜市社会福祉協議会（☎23-2526）にて「ボランティア団体くき手話サークル」で連絡先をお尋ね下さい。

1市3町の合併に伴い、各地区で活動していたサークルが平成23年4月から久喜市手話サークルとして誕生し、私たちのサークルは「くき地区手話サークル」となりました。

昨年は「久喜市民まつり」、「まなびすと久喜」等に参加してミニ手話学習会を行いました。おかげさまで関心を持って頂き、新しい会員も増えました。

定例会は毎週水曜日の夜、ふれあいセンター久喜にて聞こえない人から「魅力ある手話」を学び、交流を深め手話学習やレクリエーションを楽しんでいます。

さまざまな活動の中で、小・中学校手話学習の協力及び市役所、総合文化会館職員対象の手話研修会のアシスタントを務めています。興味のある方は是非、見学にいらして下さい。

お待ちしております。

アコーディオンサークル

菖蒲地区



「アコーディオンサークルをつくりませんか」

連絡先 伊藤（☎85-0332）

平成三十一年、久喜市との合併を前に開催された久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」でのことです。

私は「新しい町づくり」のテーマのもと、「菖蒲町の紹介」のパネルディスカッションに参加しました。

二日目はアコーディオンの演奏をしました。その時、あるアコーディオンの愛好者からおもいがけず声をかけられて「まなびすと久喜」の大会テーマのように「出会い・ふれあい・語りあい」があったのです。

その後は久喜市民数人と市外のアコーディオンサークルと一緒に練習をしています。

現在アコーディオンを弾かれている方、これから始めようと思う方が居りましたら、若い人から高齢者の方まで年齢を問いません。「久喜アコーディオンサークル」をつくりませんか。

第2回まなびすとフォーラム（生涯学習研修大会）

久喜市生涯学習推進部スローガン『地域で学ぶ・地域が育つ』

大会テーマ 『①地域で子供が育つ』 『②あなたにとってボランティアとは』

去る6月11日（土）「まなびすとフォーラム」が埼玉県立鷺宮高等学校学生食堂で開催されました。

来賓として田中暉二久喜市長、岩崎鷺宮高校校長からご挨拶をいただきました。

約130名の参加者が14分科会に分かれ、二つの大会テーマの中から一つを選んで、中・高校生、学校教育・社会教育関係者、PTA役員、一般市民の方々、そして市民大学生、高齢者大学生が、学校・家庭・地域のそれぞれの立場からグループディスカッションを行いました。



討議内容の結果は代表6分科会と鷺宮高校生の特別発表1分科会が行い「地域力が子供達を育てる」「ボランティアは自分の発見、活動することは愛情表現」等、討議した参加者の熱い想いを約5分間で情熱を込めて発表しました。



金子雄司生涯学習推進部委員長は、閉会（感想）挨拶で嬉しかったことは、小・中学生、お母さんの家族での参加があったこと、高校PTA役員の参加で、小・中・高のPTA役員が揃ったこと等を述べ、この研修大会が成功裡に終了したことを感謝されました。

尚この14分科会討議資料は「久喜市民まつり」の生涯学習推進部ブース及び来年2月に開催する「まなびすと久喜」に展示します。